

製品安全データシート

作成 平成 25 年 1 月

1. 製品及び会社情報

製品名	: 刃物クリーナー
会社名	: アルスコポーレーション株式会社
住所	: 〒599-8267 大阪府堺市中央区八田寺町 476-3
電話番号	: 072-260-2121 (代表)
FAX 番号	: 072-272-0400
担当部門	: 本社営業部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

水酸化カリウム	: 国連番号 1813 国連分類 8 (腐食性物質等)
---------	--------------------------------

物理的及び化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 区分外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類できない
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分 3
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入・蒸気)	: 分類できない

皮膚腐食性・刺激性	: 区分 1B
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発ガン性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: 区分 1 (呼吸器系)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 区分 1
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	: 分類できない
水生環境慢性有害性	: 分類できない
GHS ラベル要素	
絵表示又はシンボル	:



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 飲み込むと有毒 (経口) 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 呼吸器系の傷害 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
注意書き	
安全対策	: 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉塵を吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
救急処置	: 飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

直ちに医師の診断、手当てを受けること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一・混合物

化学名	CAS 番号	配合率
水酸化カリウム	1310-58-3	3.0
ポリオキシアルキレンアルキルエーテル	68439-51-0	2.0
メタキシレンスルホン酸ナトリウム	142063-30-7	1.0
ブチルジグリコール	2-422-7-97	2.0
エチレンジアミン四酢酸・四ナトリウム	64-02-8	1.0
D-リモネン	5989-27-5	0.1
ミネラル酵素水		

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	: 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせない。

5. 火災時の措置

消火剤	
小火災	: 粉末消火剤、二酸化炭素、散水
大火災	: 粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、散水
使ってはならない消火剤	: 情報なし。
特有の危険有害性	: 情報なし。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 作業には必ず保護具(手袋・眼鏡)を着用する。多量の場合、人を安全に待避させる。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	: 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
除去方法	: 漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。
二次災害の防止策	: 付近の着火源となる物を速やかに除くとともに消火剤を準備する

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 注意事項 : 換気注意
- 安全取扱注意事項 : 適切な排気換気装置を使用する。
適切な保護具を着用すること。

保管

- 適切な保管条件 : 容器を密閉して換気の良い場所で保管する事。火気注意。
- 容器包装材料 : 情報なし。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
適切な排気換気装置を使用する。

管理濃度

- : 設定されていない。

許容濃度

- 日本産業衛生学会 : 設定されていない。
- ACGIH : 設定されていない。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 状況に応じ着用
- 手の保護具 : ゴム保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖保護衣
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 無色又は淡白色
- 臭い : オレンジ臭
- pH : 13.5±0.5
- 粘度 : 1.005±0.003 cp (mPa・s) (20 °C)
- 沸点 : データなし
- 融点(流動点) : データなし
- 引火点 : データなし
- 爆発限界 : データなし

蒸気圧	: データなし
10. 安定性及び反応性	
化学的安定性	: 通常の使用では安定。
危険有害反応可能性	: 酸との混触により発熱する。亜鉛、アルミニウム、クロム等金属と混触すると可燃性ガス（水素）を発生する。
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 酸、アルミニウム、チタン、亜鉛、及びそれらの合金、クロム。
危険有害な分解生成物	: 情報なし
11. 有害性情報	
急性毒性（経口・経皮・吸入）	: 情報なし
皮膚腐食性／刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器	: 情報なし
皮膚	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発ガン性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器・全身毒性 （単回暴露）	: 粉塵又はミストを吸入暴露すると鼻、気管支に熱傷等の障害を起こし、肺水腫にまでいたる（水酸化カリウム）。
特定標的臓器・全身毒性 （反復暴露）	: 水酸化カリウムの反復投与毒性研究事例は見当たらない。ヒトの報告もなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
12. 環境影響情報	
水生環境急性有害性	: 情報なし
水生環境慢性有害性	: 情報なし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う事。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	: 1814
国際法規制	: 航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。
国内法規制	

陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
特別の安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき有害物 水酸化カリウム（政令番号 第316）
毒物及び劇毒物取締法	: 製品として該当しない。
火薬類取締法	: 該当しない。
高圧ガス保安法	: 該当しない。
船舶安全法	: 該当しない。
航空法	: 該当しない。

16. その他

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価については必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。